

各関係機関団体の長 殿
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成 2 4 年度病虫害発生予察注意報第 3 号について

注意報 第 3 号

このことについて、病虫害発生予察注意報第 3 号（チャバネアオカメムシ）を発表したので送付します。

5 月下旬以降の予察灯での誘殺数は、平成 22 年以降最も多く、ヒノキの球果の結実量も少ないため、今後、果樹園への飛来が増えて、被害が発生する恐れがあります。誘殺数は地域の差が大きいため、発生状況に十分注意し、早期防除による被害軽減に努めて下さい。

果 樹

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 病虫害名 チャバネアオカメムシ
- 3 発生地域 県下全域
- 4 発生型 前期発生型
- 5 発生量 多（6 月下旬から 7 月）
- 6 注意報の根拠

- (1) 誘殺数の増え始めた 5 月 6 半旬～6 月 3 半旬の予察灯での誘殺虫数は類似年と考えられる平成 14 年より少なかったが、筑紫野市では 1,479 頭（前年 188 頭、前々年 291 頭、平成 14 年 10,583 頭）で前年・前々年より多で、八女市では 179 頭（前年 49 頭、前々年 189 頭、平成 14 年 475 頭）と前年・前々年より並～多であった（表 1、表 2）。
- (2) 5 月 6 半旬～6 月 3 半旬の筑紫野市におけるフェロモントラップでの誘殺虫数は、平成 14 年より少なかったが、5,976 頭（前年 512 頭、前々年 104 頭、平成 14 年 17,425 頭）と前年・前々年より多であった（表 3）。
- (3) 6 月 1～3 半旬の県内のヒノキ球果の結実量は少なかった（表 4）。

7 防除上注意すべき事項

- (1) チャバネアオカメムシの発生は地域の差が大きいため、果樹園内を注意して見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。
- (2) カメムシ類は広範囲に移動するため、薬剤散布は広域での一斉防除の方が効果が高い。
- (3) 防除薬剤は樹種により使用できる薬剤が異なるので注意し、農薬使用基準を遵守する。
- (4) 降雨があると薬剤の残効が短くなるので、散布間隔に注意する。

表1 予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺虫数

調査時期	月 半旬	筑紫野市吉木				八女市黒木町				
		本年	平成23年	平成22年	平成14年	本年	平成23年	平成22年	平成14年	
4月	計	5	0	0	279	7	0	0	153	
	1	25	0	15	792	0	0	1	414	
	2	767	22	26	51	44	68	13	279	
	3	32	48	2	1209	4	86	0	182	
	5月	4	48	150	344	279	12	39	82	22
	5	269	65	194	1709	28	64	29	36	
	6	325	0	3	1528	90	6	3	100	
	計	1466	285	584	5568	178	263	128	1033	
6月	1	736	136	144	6507	12	20	82	243	
	2	194	45	83	1820	61	11	59	101	
	3	224	7	61	728	16	12	45	31	
	4	-	6	216	544	-	8	109	62	
	5	-	196	36	288	-	37	24	8	
	6	-	54	64	550	-	16	61	165	
	計	(1154)	444	604	10437	(89)	104	380	610	
7月	1	-	11	128	7790	-	10	72	240	
	2	-	40	48	1694	-	13	31	73	
	3	-	19	20	3828	-	0	29	200	
	4	-	7	47	2783	-	1	27	459	
	5	-	5	26	7925	-	0	31	461	
	6	-	70	26	8284	-	5	29	837	
	計	-	152	295	32304	-	29	219	2270	

1. ()は6月1～3半旬の合計

表2 チャバネアオカメムシの年度別発生状況

項目	本年	平成23年	平成22年	平成14年 (類似年)
越冬量 (頭/m ²)	3.6	0.7	2.0	4.6
ヒノキ球果 着生量	少	中	やや少	中
発生型	-	後期	後期	前期

表3 集合フェロモンによるチャバネアオカメムシの誘殺虫数

調査時期	月 半旬	筑紫野市吉木				
		本年	平成23年	平成22年	平成14年	
4月	計	117	1	3	643	
	1	140	4	225	869	
	2	593	229	395	29	
	3	157	33	41	925	
	5月	4	760	216	207	356
	5	2142	66	492	2593	
	6	2326	17	27	2669	
	計	6118	565	1387	7441	
6月	1	1499	299	56	11141	
	2	974	144	16	2511	
	3	1177	52	5	1104	
	4	-	25	9	1477	
	5	-	198	0	208	
	6	-	117	0	1283	
	計	(3650)	835	86	17724	
7月	1	-	82	281	22750	
	2	-	77	151	7992	
	3	-	28	15	19020	
	4	-	9	45	13800	
	5	-	3	22	41643	
	6	-	2	8	13028	
	計	-	201	522	118233	

1. ()は6月1～3半旬の合計

表4 ヒノキ球果の結実量

調査場所 (箇所数)	ヒノキ結実量	
	評価	値
本所管内 (13ヶ所)	少	2.2
筑後支所管内 (9ヶ所)	やや少	2.8
行橋支所管内 (6ヶ所)	極少～少	1.5
全体 (28ヶ所)	少	2.2

- 6月1～3半旬に調査。
- ヒノキ球果の結実量は、極少を1、極多を7として7段階に評価し、本・支所管内と全体の平均値を算出。